



光 和

光和小
携帯サイト

2月号
練馬区立光和小学校
令和5年1月31日



備えあれば憂いなし

校長 矢島 直行

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますが、早いもので年が明けてから1か月が過ぎました。令和4年度も子供たちの登校日数は残すところ、修了式、卒業式まで35日余りです。一日一日充実した学校生活を送ることができるようにしたいです。

学校では月に1回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。実際の災害時に安全に避難することができるようにするためです。

3月11日は忘れることのできない日です。今から12年前のことです。午後2時46分に宮城県沖を震源に大きな地震が起こりました。被害を大きくしたのは津波です。多くの人、物を飲み込み、大勢の方が亡くなりました。

そのような中、釜石市の小中学生のほとんどが助かりました。「釜石の奇跡」と言われていますが、「逃げる」ことを実践した成果です。釜石市のある中学校では、地震が起きると生徒たちは自主的に校庭を駆け抜け、「津波が来るぞ」と叫びながら避難所まで移動しました。日頃から一緒に避難訓練をしていた、隣接する小学校の小学生たちも後に続きました。ところが、避難場所の裏手は崖が崩れそうになっていたため、男子生徒がさらに高台へ移ることを提案し、避難しました。その間、幼稚園から逃げてきた幼児たちと遭遇し、ある者は小学生の手を引き、ある者は幼児が乗るベビーカーを押して走りました。間もなく、指定されていた避難場所も波にさらわれました。間一髪で高台にたどり着いて事なきを得ました。ある小学1年生の男児は、地震発生時に自宅に1人でいましたが、学校で教わった通り、避難場所まで自力で避難しました。

東日本大震災は、私たちの想定をはるかに超えるものでした。そのような中においても、自分たちの命をいかに守るかを日々の訓練から習得していたことを実践することができました。地震はいつ起こるか分かりません。私たちも教訓として生かしていきたいです。

練馬区には避難拠点運営連絡会があります。震度5弱以上の地震が起きた場合、学校に避難拠点が立ち上がります。自宅にいられない方や帰宅困難者が学校に避難します。避難拠点運営連絡会は毎月開催され、定期的に訓練をしていますが、いざというときは避難拠点運営連絡会の方々だけではなく、保護者をはじめ、地域の皆様の協力が不可欠です。

2月25日(土)9時から13時、学校で避難拠点運営連絡会主催の防災訓練を行います。体育館では避難拠点の説明や備蓄品と寝るスペースなどの確認、備蓄倉庫前では仮設トイレや発電機、投光器、バーナーなどの設置訓練、校庭でははしご車や起震車の体験と消火器やAED使用訓練を行います。避難拠点が立ち上がったときを想定した訓練です。「備えあれば憂いなし」と言われるように、もしものことを想定してあらかじめ準備をし、いざというとき慌てずに行動することができるようにしていかなければなりません。子供たちや保護者の皆様も是非参加していただけたらと思います。

2月（如月）の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
30	31	2月1日	2	3	4	5
全校朝会	4時間授業 発育測定結果配付	午前5時間授業	4時間授業①② 新1年生保護者会			
6	7	8	9	10	11	12
学年朝会 安全指導		委員会		教材費・給食費引 き落とし日	建国記念の日	
13	14	15	16	17	18	19
全校朝会		4時間授業	集会 社会科見学③ テレビ局出前授業⑤			合唱祭 (府中の森)
20	21	22	23	24	25	26
学年朝会	5時間授業	クラブ(クラブ見学)	天皇誕生日	水曜日時程 午前5時間授業	避難拠点 イベント	
27	28	3月1日	2	3	4	5
全校朝会 5時間授業 新登校班長会	登校指導日 5時間授業	委員会(最終)	集会 5時間授業	6年生を送る会 登校班校旗引継式 5時間授業		

①→1年生 ②→2年生 ③→3年生 ④→4年生 ⑤→5年生 ⑥→6年生

※今月は、避難訓練が予告なしであります。

お知らせ・お願い

◇ユニセフ募金を終えて

1月の17日(火)・19日(木)・20日(金)の3日間、代表委員によるユニセフ募金を行いました。ピロティに置かれた募金箱には連日箱いっぱいの募金が集まりました。大切なお年玉やお小遣いの中から募金をしてくれた児童もたくさんいました。少しでも「人の役に立ちたい」という、光和小の子どもたちの温かい気持ちが伝わった募金活動となりました。集まった金額は、163,874円となりました。ご協力いただき、ありがとうございました。



◇感染症対策について

練馬区内ではインフルエンザによる学級閉鎖が増えています。コロナもインフルエンザも集団内で感染しやすく、発病直前～発病している人が身近にいと、防ぎきることは難しくなります。しかし、登校後に発熱した児童の中には「昨日の夜ものどが痛かった」、「兄弟姉妹が熱で休んでいる」などと答える例がまだにあります。少し前にはその後座席の近い数人の児童が続けて発熱したこともありました。大人も子供も、「体調の悪い人は休む・出歩かない」は感染症流行期においてはマナーです。どうかご理解ご協力をお願いします。感染症法上の位置付けが2類から5類に変わったとしても、症状が軽くなるわけでも感染力が低くなるわけでもありません。集団生活では、一人一人が「人にうつさない」「感染を広げない」ためにできることを地道に続けていくことが何よりも大切です。

◇小中一貫作品交流展（令和5年1月30日～2月2日）

昨年度より、小中一貫教育の取組として三原台中学校、泉新小学校、橋戸小学校、光和小学校において、各校の図工・美術等の作品を選出し、4校を巡回して展示・鑑賞を行っております。

本校では、3、4年生の代表児童の作品が図書室前に展示されました。小学校間で直接交流する機会がない中での今回の作品交流展は、とても貴重な取り組みとなっています。

